

支部開く
日塗装県支
定時総会開

新支部長に若山良夫氏 「知名度上げる活動を」



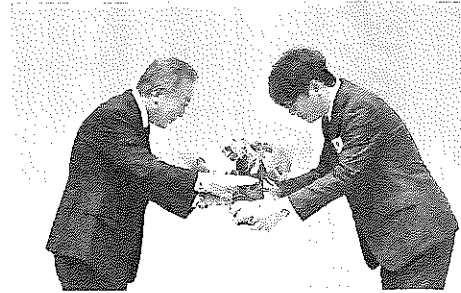
若山新支部長

日本塗装工業会新潟県支部(日塗装)は13日、新潟市中央区の新潟東映ホテルで第67回定時総会を開催し、2026年度事業計画や規約変更などを承認した。役員改選では、新支部長に若山良夫氏(東北塗装工業)、副支部長に内田仁氏(塗装内田組)、服部邦英氏(服

部塗装)、平林健恒氏(平林塗装)、新設した事務局長に島村元章氏(島村建築)らが就任。前支部長の加藤正氏は新設の直前支部長に就いた。

若山新支部長は、日塗装の知名度が上がるような活動に力を入れる考えを示し、「日塗装が無くなったら会員の皆さんが困るといふくらい、存在意義があるような事業を実施していきたい」とあいさつ。新たに設ける委員会(広報・技能・検定・安全環境)において1年

間をかけて知名度を上げつつ、意義のある事業を計画していく方針を明らかにした。



加藤前支部長へ花束贈呈

総会終了後には、4期8年にわたり支部長を務めた加藤前支部長に対し、若山新支部長から花束が贈呈された。加藤前支部長は「感無量」としながら、会員の尽力により全国建築塗装技能競技大会の新潟開催、支部設立70周年記念式典などが実施できたとし、「日塗装の会員であれば良い会社で、良い仕事をやってくれると言われるよう支部運営に協力をお願いしたい」と話した。会員数は、本年度の新入会員2社を加えて110社となっている。